



## 持続可能な社会を考えながら 足元の小さなことから始める

代表取締役 小川 勲

おかげさまでわが社は、今年で創業68年目を迎えることができました。

「三方よし」の精神と、「いい社員が、いい仕事をして、いい会社になる」をモットーに「地域に役立つ仕事、地域に喜んでもらえる活動」にひたむきに取り組んできました。

持続可能な地域社会の一員として、地域・お客様とともに成長・発展する存在であり続けるために、地域環境を考えながら足元の小さなことから始める(Think Globally, Act Locally)ことで、自然と人にやさしい社会の実現を目指しています。

SDGs、ESG経営などに対する関心が高まっている中、われわれの仕事も時代の流れとともに大きく変化し、海洋プラスチック問題、持続可能なサーキュラーエコノミーの実現などの取り組みや課題を前に、われわれの業界が果たす役割は大きいと痛感しています。

適切なリスクテイクと課題解決を通して、価値創造につなげ、持続的な成長の実現を図るべく、引き続きCSR活動を広範囲に取り組んでいく所存です。

この報告書にわが社の地域への貢献や環境への取り組みをまとめていますので、ご覧いただき、皆様のご意見、ご感想を頂ければ幸いです。

今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



## 企業理念

地球環境を考えながら、足元の小さなことから始める

それが、Think Globally, Act Locally

株式会社オガワエコノスは、『Think Globally, Act Locally』を行動指針として、  
企業理念である『エコロジーをテーマに地域社会と地球の未来に貢献する  
「自然にやさしい」「人にやさしい」会社』を実現するべく積極的な活動を行います。

### 株式会社オガワエコノス経営方針

1. 「買い手よし」「売り手よし」「世間によし」の三方よしを基本原則として  
企業の社会的責任を果たして、お客様に満足から感動してもらえる  
会社・社員に成長しよう。
2. “良い社員”、“良い仕事”、“良い会社”にするために“品質”、“品格”を高めて  
世のため 人のため 社会のために役立とう
3. お客様目線で物事に対応・解決するためには、謙虚と感謝と学ぶ心をも  
って“社員力”を向上させよう。

### オガワエコノス 行動基準

「いい社員」・・・会社と仕事に誇りを持ち、仕事に喜びや楽しみを見出そう。

「いい仕事」・・・お客様に喜んでいただく為にはどうしたらいいか、考え行動しよう。

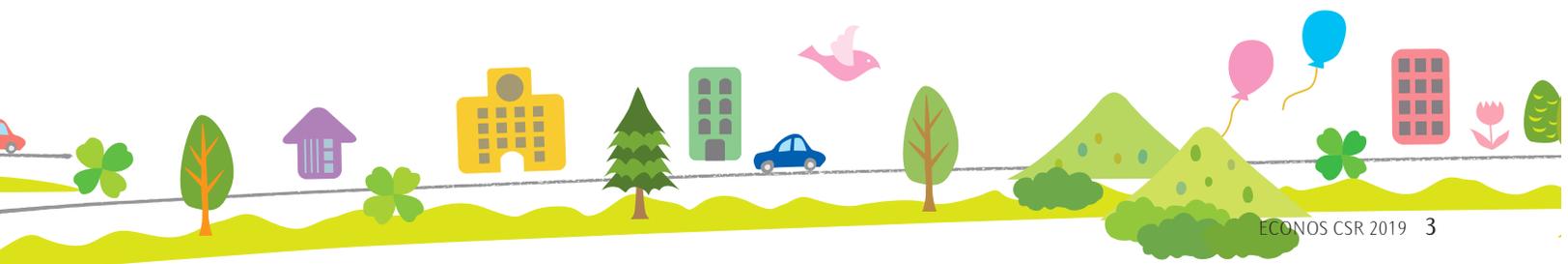
「いい会社」・・・地域や社会から、任せて安心オガワエコノス、と言って頂ける会社になろう。

### 2019年度 会社方針

働き方改革を進め

世のため 人のため 社会のために

安全第一で笑顔で働こう！



# オガウェコノス行動計画

一般事業主行動計画：2015年4月～2020年3月

## ① 育児休業の取得率の向上

目標

男性社員…計画期間中に1人以上取得  
女性社員…取得率75%以上

対策

- 管理職を対象とした研修の実施
- 育児休業取得希望者対象の講習会の実施

### >>> 男性育児休業等促進宣言文

男性育児休業取得者数

2017年度	0名
2018年度	2名
2019年度(7/末現在)	3名



実績

- ・配偶者出産休暇（5日まで）取得  
男性育児休業の最初の5日間を有給化

制度

- ・『いきいきパパの育児奨励金制度』の活用  
4件 計50万円受給（累計実績）

広報

- ・『パパの育児奮闘記』を社内報



## ② 3歳以上小学校就学前の子を持つ社員の時間外労働制限制度の利用率の向上

目標

男性社員…計画期間中に1人以上利用  
女性社員…利用率50%以上

対策

- 管理職を対象とした研修の実施
- 育児休業取得希望者対象の講習会の実施

### >>> 育児ママ・パパの時差出勤、短時間労働制度の活用促進

就学後も学童への送り迎え中心に活用



社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

### ③ 年次有給休暇の取得率の向上

**目標** 1人あたり平均年間10日以上

**対策**

- 年次有給休暇取得状況の把握
- 計画的な取得に向けて管理職研修実施
- 各部署で年次有給休暇の取得計画策定

>>> 『休むよ！計画表』の活用で年間の有給休暇の見える化⇒応援体制

有休休暇取得率

2017年度	6.8日/人
2018年度	7.9日/人

休むよ！計画表



### ④ 家族工場見学の継続実施による親子交流の場を提供

**目標** 毎年家族工場見学を実施する親子交流の場を積極的に提供する

**対策**

- 計画立案・予算編成
- 社内掲示などによる周知、参加者募集
- 反省会と次回イベントへの反映

家族工場見学の参加者



家族工場見学(レクレーション)



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 世界を変えるための17の目標

SDGsは、2015年国連で開かれたサミットで採択され、世界が合意した2016年から2030年に向けての「持続可能な開発目標」です。

達成すべき17の目標と169のターゲットで構成されています。

オガワエコノスは持続可能な地域社会形成へ向けて、パートナーシップとアライアンス並びにイノベーションの視点からアプローチし、正に“Think Globally, Act Locally”地球レベルで考え、足元の地域で実践する取り組みを始めています。

※「SDGs（エスディージーズ）」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。

## オガワエコノスのSDGsへの取り組み

	SDGs	Goals	具体的な取り組み	
Social (社会)		豊かさの追求	地域のインフラ業務 企業の環境活動、CSR サポート	P.8
		働きがい・経済成長	障がい者就業支援（あいサポート） 社員・会社の成長に向けた 社内研修制度・社外研修	P.8
		産業化・イノベーション	お出かけ隊など高齢者支援事業 RPF の JIS 規格取得	本業 P.9
		住みやすいまちづくり	廃棄物の収集運搬 埋立センター管理業務 トイレメンテナンスサービス	本業 P.10
		つくる責任・つかう責任	3R 推進 リサイクル事業（中間処理）	本業 P.9
		農業推進	農園運営 農地耕作管理	P.10
		健康と福祉	健康経営 OHSAS18001	P.11
		教育	環境教育（エコノス SEED PROJECT） 海外環境保全活動	P.12



	SDGs	Goals	具体的な取り組み			
Environment (環境)		6 安全な水とトイレを世界中に	水・衛生	汲み取り、浄化槽・下水道施設管理業務	本業	P.13
		7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	エネルギー	再生可能エネルギー RPF 製造 バイオマスチップ製造 バイナリー発電	本業	P.13
		13 気候変動に具体的な対策を	気候変動	ISO14001 定期的な環境測定実施・公開		P.14
		14 海の豊かさを守ろう	海洋資源保全	海洋プラなどの収集運搬・処理	本業	P.13
		15 陸の豊かさも守ろう	森林保全・生物多様性	カーボンオフセット取引仲介業務 グリーン商品購入の推奨	本業	P.14
Governance (企業統治)		5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダーの平等	働き方改革 女性活躍推進		P.15
		10 人や国の不平等をなくそう	不公平の是正	人事制度改革、教育体制構築 両立支援規程制定		P.15
		16 平和と公正をすべての人に	平和・コンプライアンス体制	コンプライアンス行動憲章 基本方針制定		P.16
		17 パートナーシップで目標を達成しよう	パートナーシップ・活性化	日本経済団体連合会入会 各種団体への加入 広島県との連携		P.16



1 貧困をなくそう



8 働きがいも経済成長も



- 地域のインフラ業務、企業の環境活動、CSRサポート
- 障がい者就業支援(あいサポート)、社員・会社の成長に向けた社内研修制度・社外研修

地域のみなさんやお取引様の豊かさや幸せを追求する活動として

### 1, 障がい者就業支援活動

- ①障がい者就業支援団体数 4 団体
- ②就業支援者数 延べ 1,126 名



あいサポート企業

### 2, 地域清掃奉仕活動

- ①年間延べ奉仕社員数 516 人
- ②道路清掃ゴミ重量 177kg (年間)



障がい者就業支援



清掃

### 3, 地域や企業の環境活動、CSR 活動サポート

- ①廃棄物 RPF 処理証明発行
- ②資源回収サポート



資源回収



廃棄物証明書

地域の文化振興として、『和太鼓ユニット我龍』を応援しています

業務に直結したカイゼン(課題解決)に向けチームで協力し、目標達成に向けゴー！社員・会社の成長がゴール！

### 1, 目標管理制度の導入

- ①問題解決型社員の育成・成長を通して組織の活性化効率化を狙いとする
- ②目標管理評価(成果プロセス評価)が賞与に反映



先生の指導にも熱が入る



みんなの前で目標と具体的対策を発表

### 2, 外部研修への継続的参加

- ①中小企業大学校を含め 延べ 118 人 73 講座を受講
- ②シャドウイング、受講報告会実施で社内での波及効果学んだ中で1つでも自ら実践し、業務・職場に反映したいことを選定・実行



役職者研修



SME格付け

## 豪雨災害義援金

「母校である明郷学園が少しでも早く復旧して、子どもたちが元気に学べるようにと願っています。引き続き災害廃棄物の収集や受け入れなどの支援をさせていただきます。」との言葉を添えて義援金100万円を贈りました。社員有志も赤十字社に12万円寄付しました。

代表取締役小川勲のメッセージ



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



12 つくる責任  
つかう責任



- お出かけ隊など高齢者支援事業、RPFのJIS規格取得
- 3R推進、リサイクル事業(中間処理)

地域社会での役立つ事業に取り組み  
優れた品質の製品を供給する  
廃棄物系燃料にJIS規格

### 1, 高齢者支援事業

- ① 「お出かけ隊」家へ訪問収集
- ② 「ふるさとを片付けたいの～」単品、部屋単位、  
一戸単位での片付け、空き家対策
- ③ 高齢者の見守り活動



RPFのJIS規格



お出かけ隊



ふるさとを片付けたいの～



高齢者の見守り活動

つくる責任・つかう責任をつなぎ、  
循環させる責任が私たちの使命です。

優良・産業廃棄物処理業者認定取得  
Pマーク認定取得



RPF製造



粗大ゴミ解体選別



容器包装プラ選別



家電解体選別



● 廃棄物の収集運搬、埋立センター管理業務、トイレメンテナンスサービス

- 府中市内ゴミステーション約 1000 か所を収集、分別ルールの指導
- 府中市内埋立センター 2012 年 4 月に管理受託開始  
減容化提案など延命化、適正管理を行っています。



廃棄物の収集運搬



埋立センター管理



トイレメンテナンスサービス



● 農園運営、農地耕作管理

- ①食育の場として
- ②自然とふれあう体験の場として
- ③子どもたちの情操、コミュニティのフィールドとして  
地域社会に貢献しています。

○サッカー場規模（約 6,000㎡）の農地を耕作しています。



農園運営



朝市



農園運営ウエルカムゲート

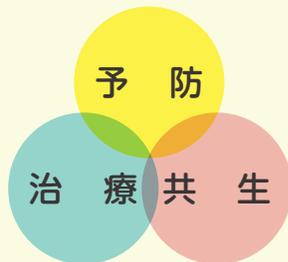


農地耕作管理

3 すべての人に  
健康と福祉を

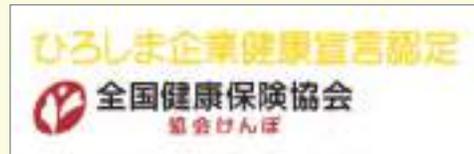


## ●健康経営、OHSAS18001



- ① 予 防：社員と家族の健康増進
  - ：家族を含めた健康診断の促進
  - ：保健師指導
  - ：健康ストレッチ指導
- ② 治 療：治療生活、復職へ向けてのサポート
  - ：治療生活サポート制度の手続き
  - ：リスクフォローの面談
- ③ 共 生：治療と仕事の両立支援プラン策定
  - ・就業環境
  - ・勤務形態
  - ・治療との両立

- 2018年10月 「両立支援規程」制定
- 2019年 2月 「過重労働による健康障害防止のための対策実施要綱」制定



OHSAS



### 経営者のメッセージ

健康経営はあくまでも手段の一つです。  
その目的は、社員がどんな境遇にあってもエコノスで仕事を続けられ、さらには困難を乗り越えて、一緒に働くことを生きがいとし、みんなが幸せになることです。



健康診断



健康講話



エクササイズ





- 環境教育 (エコノス SEED PROJECT)
- 海外環境保全活動

### ECONOS SEED PROJECT への取組み

- ① 地域・行政・企業と連携した教育体制
- ② 「見る・体験する・学ぶ」参加型の環境教育
- ③ 体験の機会の場認定



海外支援



田植え



芋掘り



工場見学



出前授業



体験の機会の場



考 え 方	ブランディング（企業価値）＝地域社会への『貢献』	
エコノスの ブランディング	エコノスで一貫した『環境教育』を受けられる	
これからの姿	様々な環境教育が企業価値のスケールになり『魅せる環境教育』へ変革していく	
3 つ の 取 組 み	1, チャネルの多様化	①見る（見学） ②する（体験） ③学ぶ（学習授業）
	2, 地域連携化	①企業、福祉施設、学校など ②地域、町内会 ③行政・教育機関
	3, エリア拡大	①府中 ②福山 ③尾道・三原
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境人財の育成</li> <li>○地域コミュニティの創出</li> <li>○地域連携での CSR 促進</li> </ul>



6 安全な水とトイレ  
を世界中に



14 海の豊かさを  
守ろう



- 汲み取り、浄化槽、下水道施設管理業務
- 海洋プラなどの収集運搬・処理

## 芦田川水系の水を守る事業活動



汲み取り作業



浄化槽の点検



下水道施設

## 海洋ゴミ・NPO 法人や行政との連携、協力



RPF事業



海洋プラゴミ

### 〈海洋プラ問題の取組み〉

- 瀬戸内海の海洋プラ（ブイや投棄ペットボトルなど）を行政や団体と連携し、収集運搬後、リサイクル化
- 海洋プラを活用したサーマルリサイクル RPF 製造

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



- 再生可能エネルギー RPF 製造
- バイオマスチップ製造
- バイナリー発電

これからのエネルギーリカバリーの一翼を目指す  
廃棄物系の石炭代替燃料 RPF  
間伐材や建設系・産業系廃棄材を利用した  
バイオマス燃料チップ



RPF



木質チップ



木質チップ製造機械



バイナリー発電機

13 気候変動に  
具体的な対策を



- ISO14001
- 定期的な環境測定実施・公開

弊社では定期的に環境測定を実施し、適正に開示しています。  
ISO14001 の取得運用だけでなく、現在取得している OHSAS18001 から  
新たに ISO45001 にステップアップし、環境と労働安全衛生の向上に努めて参ります。



ISO14001



15 陸の豊かさも  
守ろう



- カーボンオフセット取引仲介業務
- グリーン商品購入の推奨



カーボンオフセット実施証明書



エコ商品、グリーン商品の購入



2018年度 カーボンオフセット実績

	オフセット種類	件数	オフセット量 (t)
1	イベント・オフセット	2	3
2	自己・オフセット	1	154
3	商品・オフセット	3	460
	合計	6	617

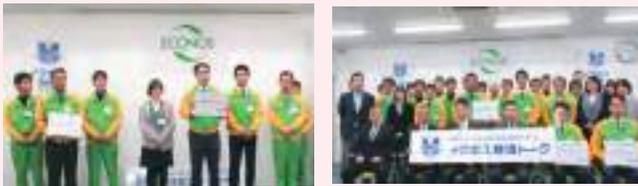


5 ジェンダー平等を実現しよう



- 働き方改革
- 女性活躍推進

## 女性だけの部・事務統括部創設 女性が生きがいを持って働ける環境づくり



イクボス宣言



(人)

	2017年度	2018年度
社員数	235	241
内女性	40	47
比率	17%	19.5%
管理職(部長・課長)	18	17
内女性	1	1
比率	5.5%	5.8%
監督職(TL・課長補佐他)	27	29
内女性	0	2
比率	-	6.9%

10 人や国の不平等をなくそう



- 人事制度改革
- 教育体制構築
- 両立支援規定制定

### 1. 両立支援

規程制定と制度の充実化  
育児・介護・治療に向けて休暇制度、労働形態等の充実

### 2. 人事制度

未来へのエントリーシート  
ポストチャレンジ制度  
フリーエージェント (FA) 制度 } 制定

○メンター制度 導入  
こんなにたくさん任命したのは  
「新入社員をひとりぼっちにしない」  
「たくさん声をかけることで、心の声を聴き、  
たくさんさんの経験を話してあげる」体制づくりを  
目指しているからです。



メンターたち



両立支援規程



申請書



●コンプライアンス行動憲章、基本方針制定

1.基本方針  
2.行動憲章



1. 基本方針

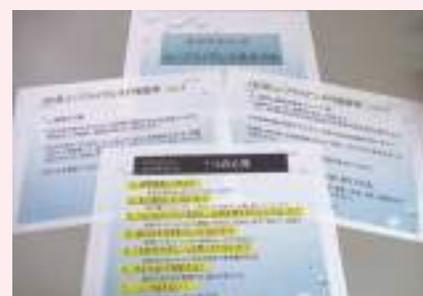
- ①コンプライアンスに関する指針
- ②コンプライアンス推進体制
- ③業務の適正を確保するための体制
- ④コンプライアンス体制図
- ⑤報告・相談・勧告ルート

2. 行動憲章

- ①経営者コンプライアンス行動憲章
- ②社員コンプライアンス行動憲章
- ③7つの心得



コンプライアンス



コンプライアンス基本方針



●日本経済団体連合会入会、各種団体への加入、広島県との連携

SDGs17のゴール達成に向け①謙虚に学ぶ場として②役割を再認識する場として  
③アライアンス、提携を築く場として各種団体へ加入し積極的に活動しています。



全国産業資源循環連合会



SDGsバッジ



環境の日



SMBC (エコノス掲載)

## エコノスアーカイブ

イクボス宣言



「働き方改革」セミナー講演



「チームがん対策ひろしま」登録



「健康経営」セミナー講演



工場見学

(わかりやすい説明)



ラジオ番組に

新入社員生出演



環境展出前授業



環境大臣賞受賞



工場見学 (青空教室)



企業・学校・地域・行政連携の環境教育

# ECONOS

## ECONOS SEED プロジェクト

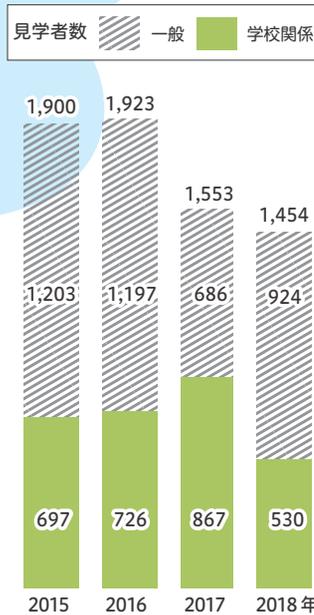


Sustainable  
Environment  
Education for  
Development

見学・体験・学習を通して地域や行政との連携強化

### 見学

オガワエコノスのリサイクル工場を見学できます



# SEED プロジェクト



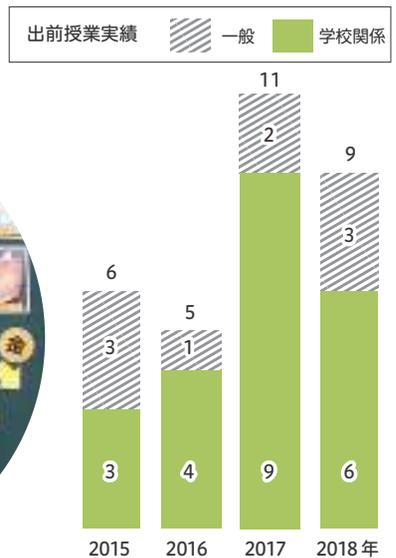
## 体験

環境に関する授業を行っています



## 学習

食育体験・職業体験を行うことができます



# 健康経営



お客様に喜んでいただけるサービスを提供するためには、まず従業員とその家族が健康でなければならないと考え、健康増進に向けた啓発を行っています。

## ● 職場で予防、リフレッシュ！ ストレッチ体操

■地域のみなさんにもおすそ分け（地域向けのストレッチ教室開催）



## ● 両立支援の充実

- ①『治療と職業生活の両立支援』基本方針制定
- ②『両立支援規程』制定
  - (1)育児・介護支援…特別短時間勤務・時差出勤制度  
ファミリーサポート休暇など
  - (2)健康と治療支援…短時間勤務・時差出勤制度・長期療養  
休暇・治療支援休暇・おすそ分け休暇・  
健康維持休暇・治療支援賞与制度
  - (3)社会生活支援…短時間勤務・時差出勤制度・公務活動・  
社会貢献休暇・災害犯罪被害支援制度



『3本の矢』の支援で、働き方改革よりも健康経営でのカテゴリーの一環として取り組んでいます。

## ● 『過重労働による健康障害防止のための対策実施要綱』制定

- ①労働時間の適正管理（管理職を含めた総労働時間管理）の実施
- ②会社・産業医（医師）家族による過重労働対策の実施  
流れ：労働者並びに家族による疲労蓄積度自己診断チェック  
↓  
医師の面接指導  
↓  
健康診断



# 働き方改革



働き方改革を従来の①労働時間②休暇制度③労働形態から『働きやすい職場環境への改善』を主眼として次の取り組みを行っています。

## ● ハラスメント防止

パワーハラスメントを明確化し、セクシャルハラスメントの各基準を規程化。また、コンプライアンス勉強会を通して全員に教育実施。

■就業規則、賞罰規程の改訂



## ● コンプライアンス基本方針

■コンプライアンス行動憲章  
コンプライアンスに関する指針  
コンプライアンス推進体制  
コンプライアンス「7つの心得」 } 制定

■コンプライアンス体制

- ①コンプライアンス委員会の設置(独立した権限を有する経営、社員への牽制機能)
- ②相談窓口の設置、スピークアップ制度
- ③コンプライアンス勉強会の定期実施とコンプライアンス通達の発行



## ● 人事制度充実によるモチベーション向上

■「みらいへのエントリーシート」制定

- 考え方 ①自らの能力を商品として売り込む場の提供  
②失敗を許容し、挑戦、行動することを通して人財育成につなげる  
③働きがいをもち、夢を実現する能力開発を積極的に支援する

■ポストチャレンジ制度

■フリーエージェント制度

- 考え方 ①自分の可能性を試したい  
②業務と人財のマッチング  
③自分の特定能力を活かしたい



## ● 事務統括部の新設

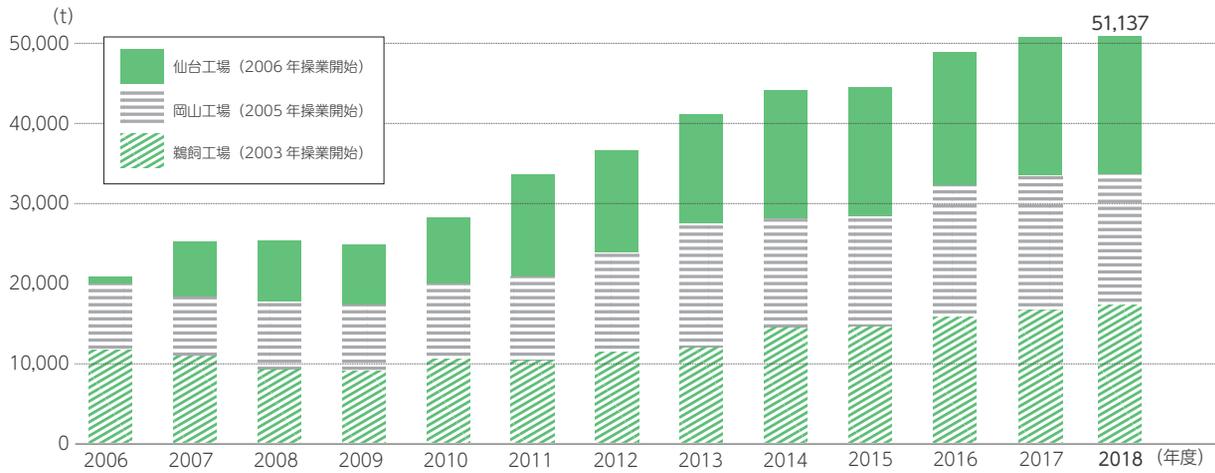
■女性だけの部を創設

営業事務と工場事務、アクア事務の統合

- 目的 ①多能化によるキャリアアップ  
②互換性を高めた柔軟な応援体制  
③女性の女性による女性のための「働き方改革」の創出



RPF 生産量



2018 年度エネルギー収支

RPFの保有エネルギー

**1,314 × 10<sup>6</sup> MJ**

**RPF 51,137t**

※単位重量当たりのエネルギー量を青字で示す (25.7 × 10<sup>3</sup> MJ/t)

RPF製品  
直径: 35mmφ  
長さ: 30mm~100mm

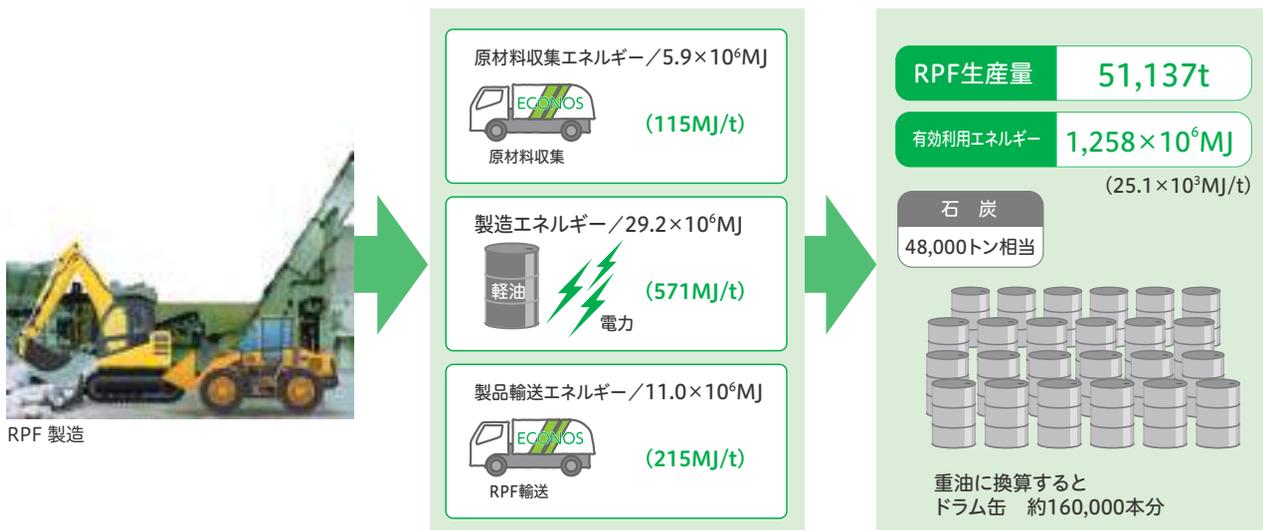
RPFのメリット

(日本RPF工業会の報告書より)

- 1 ゴみの減量化につながる
- 2 熱量が高く、エネルギー効率が良い
- 3 化石燃料に比べCO<sub>2</sub>排出が約33%削減

石炭:26MJ/kg、コークス:29MJ/kg並みに熱量が高く化石燃料の代替として使用できる

RPFを製造するまでに使用したエネルギー

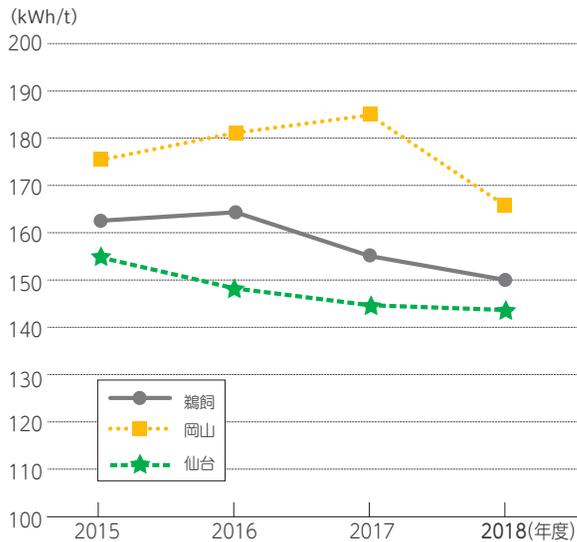


参照単位：経済産業省資源エネルギー庁 総合政策課「2013年度以降適用する標準発熱量・炭素排出係数一覧表」

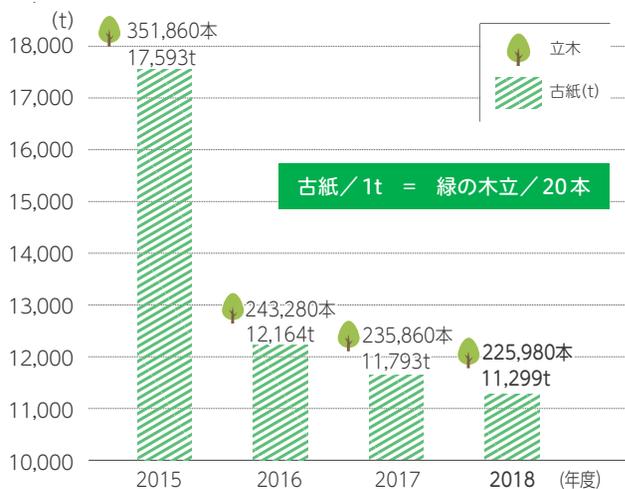
## ● 電力原単位低減

単位: kWh/t

年度	鶴飼	岡山	仙台	3工場平均
2015	162.5	176.4	154.2	164.4
2016	164.4	180.5	149.8	164.9
2017	156.0	184.7	145.4	162.0
2018	150.0	167.7	144.0	153.9



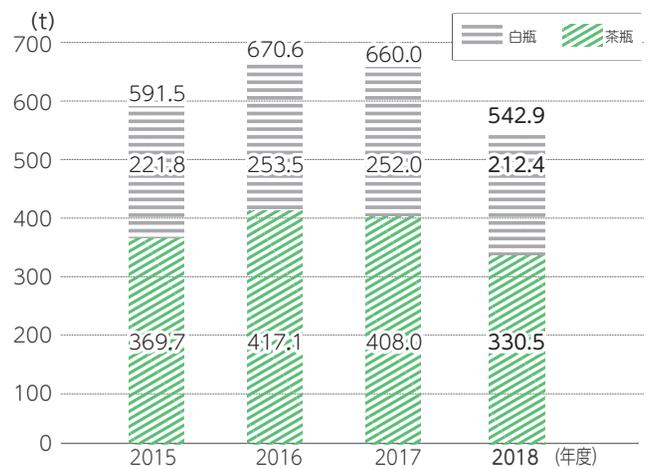
## ● 古紙



## ● ペットボトル

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
ペットボトル(t)	228.4	300.9	359.9	347.5
出荷数 (本)	3,654,560	4,815,040	5,759,200	5,560,800
作業服換算 (着)	456,820	601,880	719,900	695,100

## ● ガラス瓶



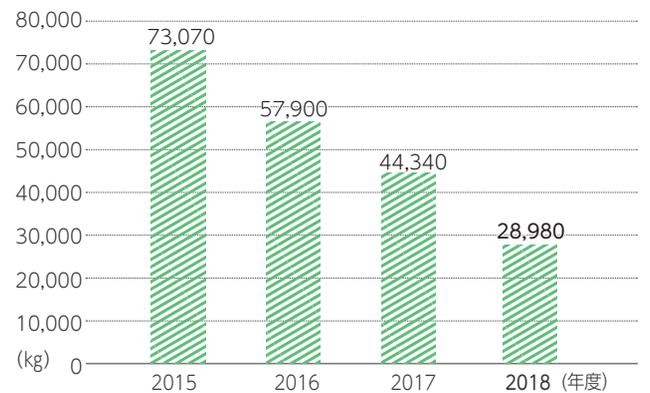
## ● アルミニウム



アルミニウム	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
回収量 (t)	247.0	205.4	251.1	262.2
節約 (GJ)	26,452	21,996	26,892	28,080
電力量 (万kWh)	412	343	419	437
世帯数 (戸)	13,734	11,421	13,962	14,583

注1) 一般世帯の1ヶ月当たりの使用量 300kWhで換算しています。

## ● 食品リサイクル (「食の環エコたい肥」製造)



## ● フロン回収 (冷蔵庫・エアコン)

冷蔵庫	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
解体数 (台)	774	811	1,042	1,700
フロン回収 (kg)	14.7	16.4	31.2	51.0

エアコン	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
解体数 (台)	161	161	204	342
フロン回収 (kg)	37	17.8	18.3	31.0

● 2018年度 労働安全衛生の取り組みと結果

サイト・部門	目 標	結 果
本山リサイクル	過去の事故事例並びにヒヤリハットから四半期に一度KYTを実施する	4件と事故後KYTを実施し、達成
本山収集	重点項目①②③⑥の啓発活動を各1回行う	各1回実施し、達成
本山焼却	過去事故事例を基にKYT活動を実施し年4回の作業カイゼンをする	4回実施し、達成
本山総務	勤務時、通勤時の危険情報共有ヒヤリハット情報として24件/年以上	24件実施し、達成
鶺鴒工場	過去の事故事例及びヒヤリハットから四半期に1回体感教育する	4回実施し、達成
岡山工場	四半期に1回、大枠①-⑥より項目を選び「体感教育」を実施する	4回実施し、達成
仙台工場	労働災害防止のため3つの実行計画を月1回以上行う	月1回実施し、達成
東京営業所	メンタルヘルスによる労災防止として本社メンタルヘルス担当との面談 年2回、メンタルヘルスに関する資料入手と自己診断年2回	面談2回実施 資料入手2回実施し、達成
本社総務	安全に関する改善や健康に関する社内への啓発・広報を年間30件以上行う	38件実施し、達成
本社営業	体調不良、熱中症、メンタルヘルスなどによる労働災害の防止の改善を年間4件行う	4件実施し、達成
アクア管理	4か月に1回以上危険個所の確認を行い啓発をする	4回実施し、達成
アクア下水道	②③⑤の重点項目に対して、同業他社の事故事例・ヒヤリハットを基に労災事故防止の為に改善を年間6件行う	8件実施し、達成
アクア業務	年間4回管理策の体感教育又は教育訓練を実施する	4回実施し、達成
福山工場	目標評価表の重点項目の①②③⑥の啓発活動を各1回行う	1回ずつ4回実施し、達成

①重機、業務車両、フォークリフトなど運転による労働災害発生の防止②人の転倒、転落、墜落などによる労働災害発生の防止③手足のはさまれ、巻き込まれ、切断などによる労働災害発生の防止④部品・製品の落下、飛来及び下敷きによる労働災害発生の防止⑤有害要因(ガス、酸欠、高温など)との接触による労働災害発生の防止⑥体調不良、熱中症、メンタルヘルスなどによる労働災害の防止

● 安全パトロールについて

パトロール日	対 象	指摘件数	要改善数	改善内容
4月26日	本山家電	5	0	
5月24日	鶺鴒工場	5	2	誘導方法と保護具着用について
6月28日	本山資源	7	3	照明の工夫、表示について
7月2日	経営パトロール	45	-	片付け、塗装、修理検討など
7月26日	アクア下水	5	0	
8月23日	福山工場	6	1	作業環境について
9月27日	本山焼却	4	0	
11月22日	本山粗大	7	4	置場、設置物について
12月11日	年末パトロール	50	-	片付け、清掃について
12月14日	岡山年末パトロール	10	-	駐車方法、置場状況
12月21日	福山年末パトロール	6	-	汚れ、整頓
1月24日	本山資源	7	2	安全対策、飛散対策
2月28日	アクア管理	4	0	
3月28日	本山焼却	9	1	指示について

## ● 2018年度 環境への取り組みと結果

サイト・部門	目 標	結 果
本山リサイクル 家電	業務効率向上のための改善を年間4件以上行う	4件実施し、達成
本山リサイクル 粗大	業務効率向上のための改善を年間4件以上行う	4件実施し、達成
本山リサイクル 資源選別	業務効率向上のための改善を年間4件以上行う	4件実施し、達成
本山リサイクル プラ製造	業務効率向上のための改善を年間4件以上行う	5件実施し、達成
本山収集	収集先の清掃活動で環境整備を年間10件以上行う	11件実施し、達成
本山焼却	時間当たりの処理量の向上 年平均1.03t/hr以上	1.06t/hrとなり、達成
本山総務	電気使用量削減のための残業時間削減 前年度10%減の99hr/人・年	5%にとどまり未達成
鶺鴒工場	時間当たりのRPF生産量の向上 年平均2.9t/hr以上	3.0t/hrとなり、達成
岡山工場	生産性向上での環境負荷低減 年平均2.74t/hr以上	2.72t/hrとなり、未達成
仙台工場	生産性の下限値向上による環境負荷低減を目指す 年平均2.95t/hr以上	12月末で2.92t/hrのため目標変更
	カイゼン活動の実施で生産向上を目指す 年36件以上	36件あり、達成
東京営業所	節電に繋がる効率的な廃棄物適正処理・リサイクル化への啓発活動として電子マニフェスト活用を促進する電子化案内24件/年、電子化実施2件以上	案内27件 実施2件で、達成
本社総務	事務所の入退室時間差を削減することによる省エネ活動。平均入退室時間を昨年より10%減の11時間36分以下に	12月末で11時間59分達成できないため目標変更
	事務所の入退室時間差を削減することによる省エネ活動。上期と比較して定時以降の時間外労働時間を昨年より5%減の21時間/月以下にする(1月から)	17時間35分で、達成
本社営業	廃棄物処理のリスク回避の提案 契約(新規・変更・追加)年40件以上	41件あり、達成
アクア管理	年4回の講習会を課員に実施し、講習前・後にテストを行い知識向上を行う	年4回実施し、達成
アクア下水道	設備異常の早期発見の為に改善を年間6件以上行う	7件実施し、達成
アクア業務	作業ミス・確認不足による追加作業発生削減のための教育の実施	毎月実施し、達成
福山工場	廃棄物のリサイクル提案による収集年間10回	10回実施し、達成

## ● エネルギー使用データ

### ■ 2018年度 電力・燃料使用量

	本社	本山工場	鶺鴒工場	福山工場	岡山工場	仙台工場	他支店
電力100V(kWh)	66,046	-	-	-	-	-	16,615
電力(kWh)	2,188	1,138,542	2,693,520	53,742	3,021,971	2,566,328	3,642
燃料軽油(リットル)	111,697	259,960	52,452	24,916	60,114	57,767	-
燃料A重油(リットル)	-	25,500	-	-	-	-	-
燃料灯油(リットル)	-	197	-	-	-	10,955	-
燃料ガソリン(リットル)	30,998	5,937	163	706	1,592	1,952	-
水道(m <sup>3</sup> )	3,754	2,262	2,275	230	3,601	2,919	278

※電力は本社・支店200V、工場6,600V

● 内部監査について

監査日	対 象	不適合	内 容
2018年8月17日	福山工場 (拡張審査対応)	1件	資格者一覧表示について
2018年1月10日～1月22日	全社	2件	予定の実施確認、自社ルールの順守について

● 外部審査について

	審査日	不適合	内 容
ISO14001	2018年10月22日～26日	マイナー2件	マネジメントレビュー議事録への記載。法令一覧への記載不足
OHSAS18001		マイナー2件	リスクアセスメント未実施。自ら決めたルールの未実施

● マネジメントレビューについて

2019年3月18日開催

	適切、妥当かつ有効であるか	改善、変更の必要性	必要な場合の指示
環境マネジメントシステムについて	ある	なし	なし
継続的改善が必要か		なし	なし
資源を含む環境マネジメントシステムについて		なし	なし
環境目標が達成されていない場合の処置		あり	厳しい目標ばかりでなく、なるべく達成できる目標でやってください。
他の事業プロセスへの環境マネジメントシステムの統合を改善するための機会		なし	なし
組織の戦略的な方向性に関する示唆	なし		
労働安全衛生方針、労働安全衛生目標	ある	あり	ISO45001に対応した方針制定をしましたが、来年は、必要最低限、わかりやすい言葉を選んでほしい。
労働安全衛生パフォーマンスの達成度		なし	
労働安全衛生マネジメントシステムに関する資源	ある	なし	
労働安全衛生システムのその他の要素		なし	

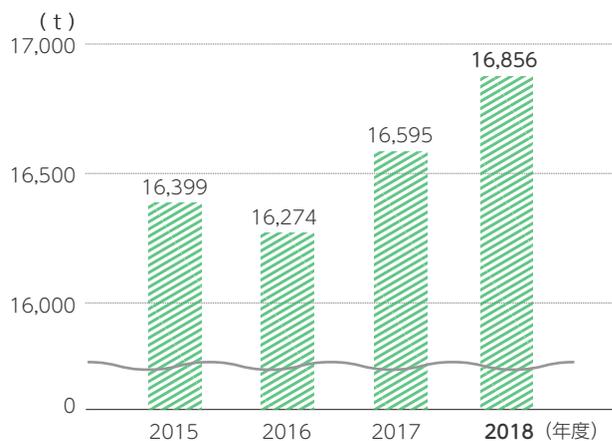
## ● 産業廃棄物の処分量等

2018年度の産業廃棄物の収集運搬および処分量データです。  
RPF 固形燃料として処分されたのは、重量で全体の78.3%を占めます。

■ 2018年度 産業廃棄物収集運搬量

品目	重量(t)
廃プラスチック類	6,706
木くず	5,272
汚泥	1,329
動植物性残さ	833
金属くず	740
ばいじん	546
紙くず	510
廃油	331
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	246
感染性廃棄物	196
燃え殻	72
がれき類	38
鉱さい	13
廃アルカリ	12
廃酸	6
繊維くず	4
特管廃油	1.2
特管廃酸	0.74
特管廃アルカリ	0.04
<b>合計</b>	<b>16,856</b>

■ 産業廃棄物収集運搬量の推移



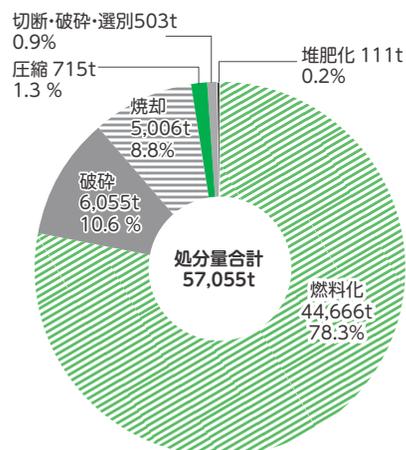
■ 2018年度 産業廃棄物処分量

品目	重量(t)	割合(%)
廃プラスチック類	33,476	58.7
木くず	13,773	24.1
繊維くず	5,109	9.0
紙くず	1,742	3.1
汚泥	722	1.3
金属くず	697	1.2
廃油	674	1.2
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	348	0.6
感染性廃棄物	259	0.5
動植物性残さ	190	0.3
燃え殻	50	0.1
廃アルカリ	12	0.0
特管廃油	3	0.0
特管廃酸	0	0.0
特管廃アルカリ	0	0.0
<b>合計</b>	<b>57,055</b>	<b>100</b>

■ 産業廃棄物処分量の推移



■ 2018年度 産業廃棄物処分方法内訳



● 一般廃棄物の処分量等

2018年度一般廃棄物の収集運搬および処分量のデータです。

■ 2018年度 一般廃棄物収集運搬量 (単位 t)

品名	委託業務	家庭・事業系	合計
可燃ごみ	2,154	3,400	5,554
資源ごみ	994	471	1,465
粗大ごみ	538	446	984
RPF原料	0	2,645	2,645
古紙・他	75	7,085	7,160
合計	3,761	14,047	17,808

■ 2018年度 本社工場のリサイクル率 (単位 %)

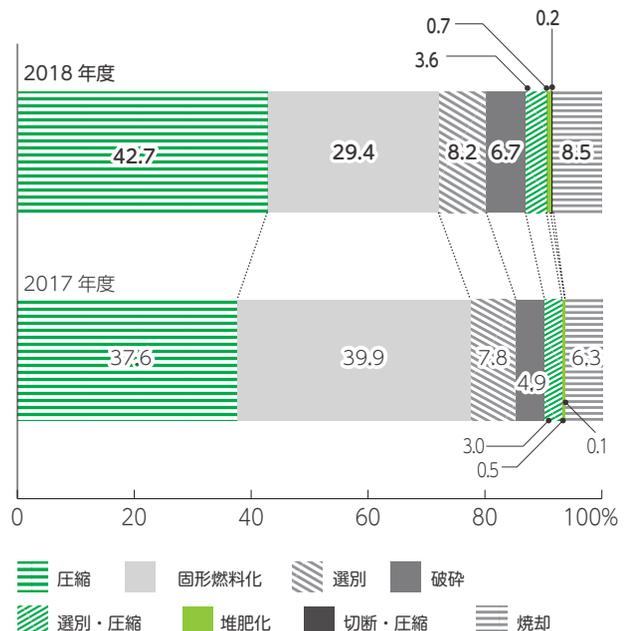
品名	2017年度	2018年度
全体	96.1	94.0
粗大	96.7	96.1
資源	96.3	94.0
家電	91.5	87.2

■ 2018年度 一般廃棄物処分量 (単位 t)

処分方法		本社工場	鶴岡工場	岡山工場	仙台工場	合計
圧縮	古紙		4,814		2,478	7,292
	紙くず		417			417
	廃プラ		2,828	90		2,918
	木くず		1,520			1,520
固形燃料化	繊維くず・他		173			173
	PET・プラ		621			621
	選別・圧縮					
	焼却	可燃ごみ	1,453			1,453
堆肥化	生ごみ	114			114	
選別	ビン・缶・PET	1,404			1,404	
破碎	PET			21		21
	粗大ごみ・他	1,131				1,131
切断・圧縮	金属くず	26			26	
合計		4,128	10,373	111	2,478	17,090

■ 2018年度 一般廃棄物処分方法による割合

方法	2017年度		2018年度	
	処分量 (t)	割合 (%)	処分量 (t)	割合 (%)
圧縮	7,914	37.6	7,292	42.7%
固形燃料化	8,409	39.9	5,028	29.4%
選別	1,642	7.8	1,404	8.2%
破碎	1,024	4.9	1,152	6.7%
選別・圧縮	627	3.0	621	3.6%
堆肥化	114	0.5	114	0.7%
切断・圧縮	15	0.1	26	0.2%
焼却	1,321	6.3	1,453	8.5%
合計	21,065	100	17,090	100%



## ● 環境測定データ

### ■ 測定結果

場所	項目	結果	単位	規制値	測定日	分析機関
焼却炉	ばいじん	ND	g/m <sup>3</sup> N	0.15	2018年7月12日	JFE西日本ジーエス
焼却炉	塩化水素	34	mg/m <sup>3</sup> N	700	2018年7月12日	JFE西日本ジーエス
焼却炉	硫酸酸化物	0.0056	m <sup>3</sup> N/h	17.5(K値)	2018年7月12日	JFE西日本ジーエス
焼却炉	窒素酸化物	97	ppm	250	2018年7月12日	JFE西日本ジーエス
焼却炉	ダイオキシン	0.085	Ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	5	2018年7月12日	JFE西日本ジーエス
本山工場	騒音	68	dB	70	2018年8月30日	JFE西日本ジーエス
本山工場	振動	48	dB	70	2018年6月14日	JFE西日本ジーエス
本山工場	臭気	10未満	臭気指数	10~21	2018年6月13日	JFE西日本ジーエス
鶴飼工場	騒音	58	dB	70	2018年6月14日	JFE西日本ジーエス
鶴飼工場	振動	42	dB	70	2018年6月14日	JFE西日本ジーエス
鶴飼工場	臭気	10未満	臭気指数	10~21	2018年6月13日	JFE西日本ジーエス
岡山工場	騒音	60	dB	70	2018年4月17日	西日本環境
岡山工場	振動	47	dB	65	2018年4月17日	西日本環境
仙台工場	騒音	59	dB	64	2018年7月25日	エヌエス環境
仙台工場	振動	34	dB	60	2018年7月25日	エヌエス環境
本社ピット	BOD	38	mg/L	160	2019年3月29日	日本総合科学
本社ピット	COD	16	mg/L	160	2019年3月29日	日本総合科学
本社ピット	SS	7	mg/L	200	2019年3月29日	日本総合科学
本社ピット	T-N	2.8	mg/L	120	2019年3月29日	日本総合科学
本社ピット	pH	7.3	-	5.0-9.0	2019年3月29日	日本総合科学
本社浄化槽	BOD	5.6	mg/L	20	2019年3月29日	日本総合科学

## ● 汲み取り・浄化槽・下水処理場作業量

### ■ 汲み取り

(単位m)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
芦田川水系	5,507	5,380	5,219	5,182
江の川水系	784	776	732	748
合計	6,291	6,156	5,951	5,930

### ■ 浄化槽清掃

(単位m)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
芦田川水系	18,386	18,600	19,103	18,157
江の川水系	2,917	2,944	2,906	2,814
高梁川水系	2,246	2,605	2,818	2,789
合計	23,549	24,149	24,827	23,760

### ■ 維持管理の委託を受けた浄化槽 下水道施設の基数

	設備の能力	維持管理件数
みなし浄化槽	5-10人槽	4,102
	11-50人槽	629
	51-500人槽	52
	501人槽以上	0
合併浄化槽	5-10人槽	5,267
	11-50人槽	204
	51-500人槽	94
	501人槽以上	6
下水道		4
合計		10,358



グループ企業

# (有)ダイイチ企業



- 住 所 / 広島県広島市安佐北区白木町三田字小椿 1521-3
- 設立年月日 / 1987年7月8日
- 従 業 員 数 / 49名 (2019年3月31日)
- 売 上 高 / 908百万円 (2019年3月期)



ダイイチ企業は、建築物の解体や建設廃棄物の収集運搬、中間処理、リサイクル業務を行っています。

2018年7月、豪雨災害の影響を受けましたが、みなさまの協力のおかげで早くに復旧することができました。ありがとうございました。



## リサイクル処理の流れ



●解体



●収集運搬



●分別



●作業車両

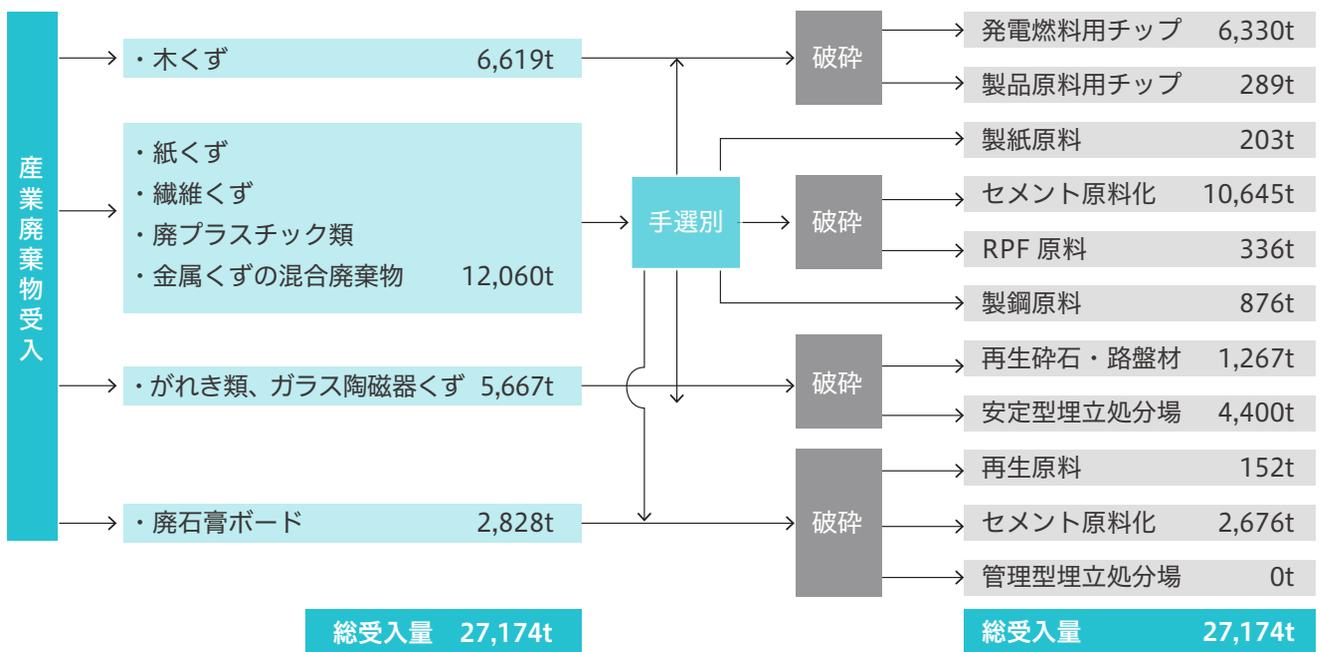


●リサイクル



●破碎

## 産業廃棄物の一連の処理工程 (2018年4月～2019年3月)



### 〈種類別リサイクル率〉

木くず	100%
紙くず	100%
廃プラスチック類	100%
繊維くず	100%

金属くず	100%
がれき類、ガラス陶磁器くず	22%
廃石膏ボード	100%

リサイクル処理	22,774t
埋立処理	4,400t
<b>総リサイクル率</b>	<b>84%</b>



## ダイイチ企業のCSR活動

### ● 社内研修

5年前より、外部講師による社内研修を実施しています。2018年度は、総会での全体研修に始まり、知ると楽しい研修、自ら考え動く研修、チームワークで必笑研修をお願いしてきました。知ると楽しい研修では、第一印象の大切さ、話すマナー、聞くマナーを実践形式で学びました。自ら考え動く研修では、みんなで悩み考え、まとめた事を上司の前で発表（行動）しま

した。チームワークで必笑研修ではマンダラチャートの取り組みや、年度内に起きた問題・課題を通して管理職としての心構えを学ばせて頂きました。人の成長＝チームの成長＝会社の成長＝お客様の満足度向上・社会貢献につながります。“良い社員”“良い仕事”“良い会社”になるために、今後も社内研修を継続していきたいと思います。



### ● 消防合同訓練

本物の消防士、消防車との合同訓練をおこないました。火災発生のお知らせを行うところから始まり、消防車が到着し、消火活動開始されました。プロ消防士さんたちの無駄のない動きに感動しながら、放水体験まで経験することができました。廃棄物処

理業者として防火対策には力を入れています。いざと言う時のための動きや流れを確認できた良い機会になりました。



## ● 消防出初式参加

毎年お正月に実施されている広島市消防出初式に、ダイイチ企業社員で消防団所属の3名（男性2名、女性1名）が参加しました。消防団紹介コーナーではダイイチ企業の車両と共に男性社員2名が登場し、消防団活動を寸劇で紹介されました。女性社員さんは消防ダンサーズのメンバーとして、キレッキレのダンスを披露されました。社内に消防団員がいる事は地域への貢献だけでなく、安心にもつながります。これからも積極的に協力し、消防団員も増員していきたいと思えます。



## ● 職場体験

広島市立高陽中学校の生徒さんを職場体験学習で受け入れました。廃棄物は生活をして行く上で必ず発生するものですが、どのようなゴミがどのようにリサイクルされるかは、まだまだ知られていません。職場体験で学び経験することで、少しでも

子供たちが廃棄物や環境に対して関心を持ってもらえるよう、地域社会への間接的貢献として、継続して行きたい取り組みの一つです。



## ● 草刈清掃

「地域社会と共存共栄できる会社を目指します」会社の経営理念にも掲げていますが、地元の方々には、日頃より大型車両の搬入等でご迷惑をおかけしているにも関わらず、弊社の活動にご理解とご協力を頂いています。その地元の方々への感謝を行



動に表す日として、年に2回「三篠川河川の除草・清掃作業」に、参加させていただいています。平成15年から継続している活動ですが、これからも参加し続けていきたい大切な行事の一つです。



# 会社概要



**名称** 株式会社オガワエコノス

**代表取締役** 小川 勲

**設立** 1952年3月15日

**(法人登記)** 1965年4月1日

**資本金** 1,000万円

**従業員** 241名 (2019年3月31日)

**営業種目**

1. 家庭系、事業系廃棄物の収集運搬及び処理・再生に関する事業
2. 汚水処理施設及びごみ処理施設等の維持管理業務
3. 浄化槽の維持管理及び清掃に関する事業
4. 管洗浄及び下水、排水等各種ピットの清掃に関する事業
5. ビル等建築物の清掃及び管理業務
6. 汚水及びごみ処理設備機器のレンタル、販売及び施工業務

7. 固形燃料製造及び販売
8. 肥料・飼料の研究開発、製造及び販売
9. 一般貨物自動車運送事業
10. 労働者派遣事業
11. 前各号の仲介及びコンサルタント業務
12. 前各号に附帯関連する一切の業務

**売上高推移**

2013年度 2,607百万円  
 2014年度 2,696百万円  
 2015年度 2,714百万円  
 2016年度 2,974百万円  
 2017年度 3,272百万円  
 2018年度 3,462百万円 (産廃情報ネットを参照ください) <http://www2.sanpainet.or.jp>

**事業所**

本社	広島県府中市高木町502-10	TEL.0847-45-2998 FAX.0847-45-5872
本山工場	広島県府中市本山町530-85	TEL.0847-41-5804 FAX.0847-41-5809
鶉飼工場	広島県府中市鶉飼町字大段原800-113	TEL.0847-47-6110 FAX.0847-47-6112
福山工場	広島県福山市箕沖町106-3	TEL.084-999-0530 FAX.084-999-0531
岡山工場	岡山県勝田郡勝央町太平台89-8	TEL.0868-38-0530 FAX.0868-38-0531
仙台工場	宮城県黒川郡大和町松坂平8-3-13	TEL.022-796-5380 FAX.022-796-5381
東京営業所	東京都中央区京橋2-11-3 服部ビル301号	TEL.03-3563-0530 FAX.03-3563-0533
福山支店	広島県福山市芦田町下有地1290-3	TEL.084-958-3965
神辺支店	広島県福山市神辺町川北1583-1	TEL.084-963-3531
上下支店	広島県府中市上下町字上下1797-1	TEL/FAX.0847-62-3376
三次支店	広島県三次市甲奴町大字本郷207-2	TEL.0847-67-2038
尾道営業所	広島県尾道市御調町大字大田986-4	TEL/FAX.0848-76-2714
神石高原営業所	広島県神石郡神石高原町安田1192-1	TEL.0847-82-0531

**グループ会社** 有限会社ダイイチ企業 広島県広島市安佐北区白木町三田字小椿1521-3 TEL.082-829-1270 FAX.082-829-1283

**取引銀行** みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、商工中金、広島銀行、もみじ銀行、中国銀行、両備信用組合本店、郵便事業(株)

**主要取引先** 福山市、府中市、尾道市、三次市、庄原市、神石高原町、広島県立高校、公共機関、リヨービ(株)、王子製紙(株)、日本製紙(株) クリナップ(株)、他多数

**加盟団体** 府中商工会議所、日本RPF工業会、広島県環境整備事業協同組合、広島県清掃事業協同組合、広島県資源循環協会 全国産業資源循環協会、岡山県産業廃棄物協会、宮城県産業資源循環協会、東京産業資源循環協会、日本下水道管路管理業協会 日本経済団体連合会

**営業許可及び区域**

*浄化槽保守点検業者登録	広島県、福山市
*浄化槽清掃許可	福山市、府中市、尾道市、三次市、神石高原町
*し尿収集許可	福山市、府中市、尾道市、三次市
*産業廃棄物処理業許可	※ <b>広島県</b> は、優良産廃処理業者認定を取得した県です。
・中間処理業	広島県、岡山県、宮城県、福山市
・収集運搬業	広島県、岡山県、山口県、島根県、鳥取県、兵庫県、愛媛県、香川県、福岡県 大分県、佐賀県、東京都、宮城県、岩手県、秋田県、山形県、青森県、福島県 大阪府、熊本県、滋賀県、愛知県、高知県、徳島県、福山市
*特別管理産業廃棄物処理業許可	
・中間処理業	広島県
・収集運搬業	広島県、岡山県、山口県
*一般廃棄物処理施設設置許可	府中市(広島県)、岡山県、宮城県
*一般廃棄物処理委託市町	福山市、府中市、尾道市、三次市、庄原市、神石高原町
*廃棄物再生事業者登録	広島県、宮城県

**情報公開** 情報公開は、私たちの企業活動の根幹です。その内容は、遠隔地の方にもWEB上でいつでも確認いただけます。

**電子マニフェストへの登録** …収集運搬業と処分業を全ての工場で登録しています。

**CSR報告書による情報開示** …ホームページよりPDFでご覧いただけます。

**産業優良化推進事業による情報開示** …ホームページのリンクからご覧いただけます。

**ライブカメラの公開** …ホームページ上で本山・鶉飼・福山・岡山・仙台 各工場のライブ映像がご覧いただけます。

**コンプライアンス** …コンプライアンス基本方針に基づき行動憲章を制定し、社員ひとりひとりが誠実な行動と、適正な事業活動を支える行動や職場環境の確保に努めています。



公開情報はこちらでご覧いただけます。 >>> [www.o-econos.com](http://www.o-econos.com)

■企業の社会的責任：CSR = Corporate Social Responsibility  
 日々の経営活動の中に社会的公正や環境への配慮を組み込み、株主や取引先のみならず、従業員・消費者・地域社会など多様なステークホルダー（利害関係者）に対して責任ある行動をとっていくという考え方。

## 会社沿革

### 1952

1952(昭和27)年3月

小川衛生社設立

し尿収集・ごみ収集を主な業務とする

### 1960

1965(昭和40)年4月

小川興業株式会社として法人登記(資本金600万円)

浄化槽維持管理業務をはじめ

### 1980

1981(昭和56)年3月

廃棄物資源化工場(リサイクルセンター)の完成、業務開始

1983(昭和58)年10月

産業廃棄物・中間処理業の許可を取得

1985(昭和60)年4月

新社屋完成

### 1990

1990(平成2)年7月

建築基準法第51条に伴う許可取得にて焼却炉設置、業務開始

1992(平成4)年9月

上下公共下水道水質管理センターの諸業務を受託

1993(平成5)年7月

特別管理産業廃棄物処理業の許可取得

1994(平成6)年4月

御調町中央浄化センターの諸業務を受託

1994(平成6)年7月

洗浄循環式移動トイレに着目しレンタル及び販売業務を開始

1995(平成7)年5月

資本金1,000万円に増資

1997(平成9)年2月

リサイクルセンターの隣接地及び鉄骨平屋建2棟購入、業容拡充

1997(平成9)年6月

小川興業株式会社から株式会社オガワエコノスに社名変更

同時に代表取締役社長 小川 典彦が代表取締役会長に

常務取締役 小川 勲が代表取締役社長として就任

1999(平成11)年2月

周辺地域の方々に安心していただくため、将来の大気汚染防止法に対応するため、新基準に適合した焼却炉を設置

### 2000

2000(平成12)年11月

環境に配慮した会社にするためリサイクルセンターにおいて国際規格ISO14001認証取得

2002(平成14)年3月

続いて本社においても国際規格ISO14001認証取得

2003(平成15)年1月

鶯飼工場新設 RPF(紙プラスチックごみ固形燃料化)固形燃料製造設備の稼働開始

2003(平成15)年2月

鶯飼工場増設 食品残渣堆肥化施設の稼働開始

2003(平成15)年5月

中国地域ニュービジネス優秀賞を受賞

2003(平成15)年6月

鶯飼工場増設

古紙圧縮梱包施設の稼働開始

2003(平成15)年7月

鶯飼工場増設

容器包装プラスチック類圧縮梱包施設の稼働開始

2003(平成15)年10月

リサイクルセンターに食品残渣堆肥化施設移設

2003(平成15)年12月

鶯飼工場において国際規格ISO14001認証取得

2004(平成16)年11月

東京事務所開設

2005(平成17)年2月

岡山工場新設

RPF固形燃料化製造設備の稼働開始

2005(平成17)年4月

産廃情報ネットにて「産業廃棄物処理業の優良性の判断に係わる情報公開」を開始

2005(平成17)年10月

(財)クリーン・ジャパン・センター平成17年度資源循環技術・システム表彰「奨励賞」受賞

2006(平成18)年2月

本社・本山工場・鶯飼工場においてISO2004年度版にて認証取得

2006(平成18)年11月

リサイクルセンターの名称を本山工場に変更

仙台工場新設、RPF固形燃料化製造設備の稼働開始

2007(平成19)年5月

日本ウエスト株式会社と業務提携

2007(平成19)年7月

スタンダード&プアーズの企業格付けで「aaa」を取得

2008(平成20)年6月

(社)全国産業廃棄物連合会会長表彰(優良事業表彰)受賞

2008(平成20)年7月

本山工場増設 廃食油燃料化施設稼働開始

2008(平成20)年8月

一般貨物自動車運送事業の許可を取得

本山工場増設 塩び管リサイクル専用破砕設備稼働開始

2009(平成21)年2月

経営者「環境力」大賞を受賞

2009(平成21)年3月

仙台工場増設 古紙圧縮梱包施設稼働開始

2009(平成21)年4月

本山工場増設 分別・洗浄機稼働開始

2009(平成21)年7月

カーボンオフセット事業開始

2009(平成21)年10月

3R推進協議会 会長賞を受賞

### 2010

2010(平成22)年1月

ペットボトル破砕洗浄機を導入

2011(平成23)年11月

優良産業廃処理業者認定取得

2012(平成24)年4月

プライバシーマーク取得

2012(平成24)年10月

中央労働災害防止協会「緑十字賞」受賞

2012(平成24)年11月

(公社)全国産業廃棄物連合会

CSR2プロジェクト ぴりり部門

「環境省廃棄物課長賞」受賞

2013(平成25)年7月

スタンダード&プアーズの企業格付けで「aaa」を取得

2014(平成26)年6月

OHSAS18001を認証取得

2015(平成27)年3月

鶯飼工場、岡山工場、仙台工場において、RPFのJIS認証を取得

2016(平成28)年3月

焼却施設「バイナリースカイ」の稼働開始

岡山工場に資源リサイクル施設を増設

2016(平成28)年10月

「チームがん対策ひろしま」の広島県知事賞受賞

2017(平成29)年2月

「健康経営優良法人2017」認定

2017(平成29)年4月

本山工場増設 ゴム破砕機導入

岡山工場増設 木チップ製造施設

2017(平成29)年9月

有限会社ダイイチ企業とグループ会社

2018(平成30)年3月

福山工場新設 収集運搬(積保)

廃プラ・古紙圧縮施設

2018(平成30)年4月

岡山工場 一般廃棄物収集開始



## 株式会社 オガワエコノス

---

### 事業所

本 社	広島県府中市高木町502-10 TEL.0847-45-2998 FAX.0847-45-5872
本 山 工 場	広島県府中市本山町530-85 TEL.0847-41-5804 FAX.0847-41-5809
鷓 飼 工 場	広島県府中市鷓飼町800-113 TEL.0847-47-6110 FAX.0847-47-6112
福 山 工 場	広島県福山市箕沖町106-3 TEL.084-999-0530 FAX.084-999-0531
岡 山 工 場	岡山県勝田郡勝央町太平台89-8 TEL.0868-38-0530 FAX.0868-38-0531
仙 台 工 場	宮城県黒川郡大和町松坂平8-3-13 TEL.022-796-5380 FAX.022-796-5381
東京営業所	東京都中央区京橋2-11-3服部ビル301号 TEL.03-3563-0530 FAX.03-3563-0533

---

### グループ会社

有限会社ダイイチ企業	広島県広島市安佐北区白木町三田字小椿1521-3 TEL.082-829-1270 FAX.082-829-1283
------------	---

---